SONY®

4-489-507-**02**(1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

取扱説明書

http://www.sony.co.jp/cam/support/

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDR-PJ800

⚠警告 安全のために

→ 42～45ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

➡
❶ 電源を切る
❷ 電池を外す
❸ 相談窓口に連絡する

裏表紙に**相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

詳しく知りたい（ヘルプガイド）

「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。

1 ヘルプガイドの掲載ページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_cam.html

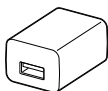
2 サイト内で本機の型名を探して「ヘルプガイド」（HTML）を開く。

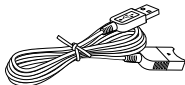
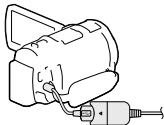
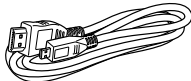
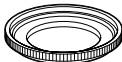
- 型名は本機の底面をご覧ください。

目次

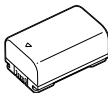
付属品を確かめる

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。

- 本機(1)
- ACアダプター（1）

ACアダプターの形状は、国/地域により異なります。

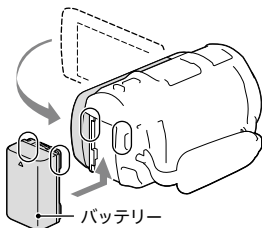
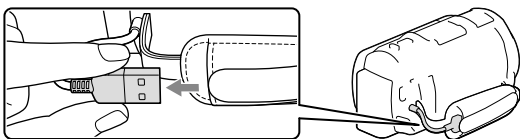
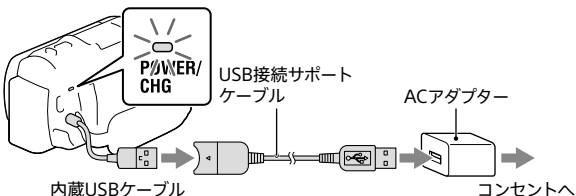
- USB接続サポートケーブル（1）

USB接続サポートケーブルは本機専用です。本機に組み込まれている内蔵USBケーブルの長さが足りないときに使います。

- HDMIケーブル（1）

- ステップダウンリング（1）

ステップダウンリングを装着するとフィルター径が37 mmになり、推奨のコンバージョンレンズを使用できます。取り付けかたは、38ページをご覧ください。

- ワイヤレスリモコン（1）

- リチャージャブルバッテリーパック NP-FV50（1）

充電時など、本機をコンセントにつないで使うときには、必ずバッテリーを取り付けてください。

- 取扱説明書(本書)（1）
- 保証書（1）

バッテリーを充電する

1 液晶モニターを閉じて、バッテリーを取り付ける。

2 内蔵USBケーブルを本機から引き出す。

3 USB接続サポートケーブルとACアダプターで、本機とコンセントをつなぐ。

- POWER(電源)/CHG(充電)ランプがオレンジ色に点灯します。
- POWER(電源)/CHG(充電)ランプが消灯したら充電完了です(満充電)。本機からUSB接続サポートケーブルを取り外してください。
- ACアダプターの形状は、国/地域によって異なります。

準備する

パソコンに接続して充電する

本機の電源を切り、内蔵USBケーブルでパソコンのUSB端子に接続します。

充電時間の目安（分）

バッテリー型名（付属）	ACアダプター（付属）	パソコン使用時
NP-FV50	165	305

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25℃の環境下でUSB接続サポートケーブルを使わずに満充電したときの時間です。

付属バッテリーの撮影/再生可能時間の目安（分）

バッテリー型名	撮影時間		再生時間
	連続撮影時	実撮影時	
NP-FV50	120	60	200

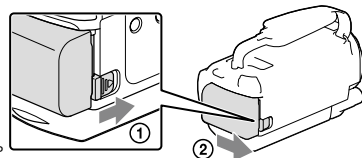
- 25℃で、満充電から使用したときのおよその時間です。
- お買い上げ時の設定（[録画モード]：[標準 HQ]、[同時ビデオ記録]：[入]）での撮影時間です。
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、撮影モードの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

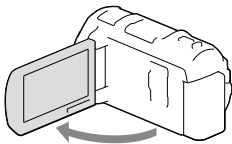
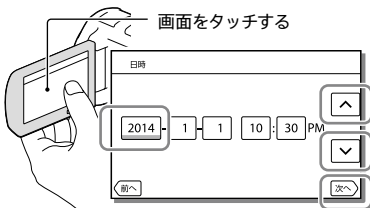
コンセントに接続して本機を使う

「バッテリーを充電する」の方法で、本機とコンセントを接続します。

- 本機にバッテリーを必ず取り付けてください。
- コンセントに接続していても、バッテリーの電力が消耗する場合があります。

バッテリーを取り外す

電源を切った状態で、BATT（バッテリー）取り外しレバーをずらしながら（①）、バッテリーを取り外す（②）。

電源を入れる

1 **液晶モニターを開いて電源を入れる。**

2 **本機の画面に従って、エリア、サマータイム、表示形式、日時を設定する。**

電源を切るには

液晶モニターを閉じる。

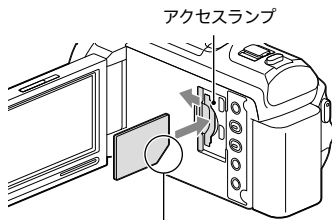
日付と時計を合わせなおす

MENU →［セットアップ］→［時計設定］→［日時設定］を選ぶ。

操作音を切る

MENU →［セットアップ］→［一般設定］→［操作音］→［切］を選ぶ。

メモリーカードを入れる

1 カバーを開き、メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む。

- [管理ファイル準備中 しばらくおまちください]が表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。

本機で使えるメモリーカード

	SDスピードクラス	動作確認済の容量
SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード	Class4以上	64GBまで
メモリースティック PROデュオ™（Mark2）/メモリースティック PRO-HGデュオ™	—	32GBまで
メモリースティック XC-HGデュオ™		64GBまで

記録/再生メディアをメモリーカードに切り換える

MENU→[セットアップ]→[メディア設定]→[メディア切換]→[メモリーカード]を選ぶ。

メモリーカードを取り外す

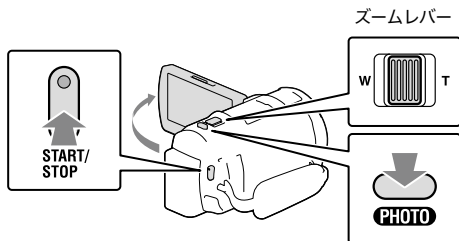
カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押す。

記録メディアをフォーマットする

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。
- フォーマットするには、MENU→［セットアップ］→［フォーマット］→フォーマットしたい記録メディア→ OK を選びます。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

撮る

動画を撮る

1 液晶モニターを開き、START/STOPボタンを押して動画撮影を始める。

- 撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。
- お買い上げ時の設定では、HD動画とMP4動画を同時に記録します（同時ビデオ記録）。MP4は、スマートフォンでの再生やネットワークへのアップロード、Web公開が簡単に行えるファイル形式です。
- 動画撮影中にPHOTOボタンを押すと、静止画を記録できます（写真同時記録）。
- 本機を数秒間操作しないと、液晶モニターの表示が消えます。再度表示するには、液晶モニターのボタン以外の部分をタッチします。

ご注意

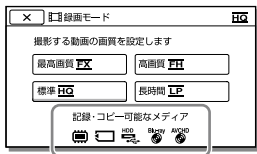
- 撮影の際には液晶モニターに被写体が映っていることを確認してから撮影を開始してください。
- ［録画モード］や［フレームレート］の設定によっては、静止画を撮影できません。
- 記録メディア（内蔵メモリー/メモリーカード）の保存先を、動画と静止画で分けることはできません。

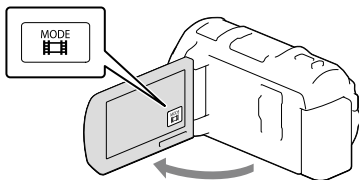
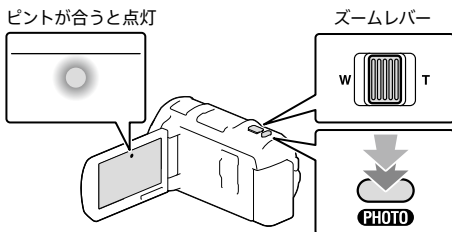
撮影者の声を抑えて撮る（マイボイスキャンセリング）

- ボタン（39ページ）を押すと、動画撮影時に撮影者の声を抑えて撮影できます。

動画の画質を変える

MENU →［画像・画質サイズ］→［録画モード］で設定する。

- コピーできないメディアのアイコンにが表示されます。

静止画を撮る

1 液晶モニターを開き、［MODE］→ （静止画）を選ぶ。

2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押す。

およその撮影可能時間

	内蔵メディア	メモリーカード(32 GB)
AVCHD動画	10時間50分*	5時間20分

＊ 記載されている最大撮影時間まで使用する場合は、デモンストレーション用の動画の削除が必要です。

- ［録画モード］が［標準 HQ ］で、お買い上げ時の設定時です。
- ソニー製メモリーカード使用時です。
- 実際の撮影可能時間/枚数は液晶モニター上でご確認ください。

マニュアルで撮る

絞り（アイリス）優先で撮る

1 MENU→［カメラ・マイク］→［マニュアル設定］→［絞り］で［マニュアル］を選ぶ。

2 ＋/－を選んで調節する。

- 液晶モニターのF値（例：F1.8）が小さくなるほど絞りが開き、ピントの合う範囲が狭くなります。
- 背景をぼかしたいときは絞りを開け、全体をシャープに表現したいときは、絞ってください。

シャッタースピード優先で撮る

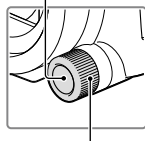
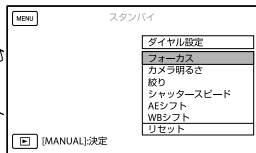
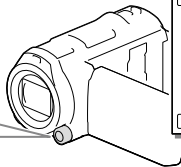
1 MENU→［カメラ・マイク］→［マニュアル設定］→［シャッタースピード］で［マニュアル］を選ぶ。

2 ＋/－を選んで調節する。

- 液晶モニターのシャッタースピード値（例：60）が小さくなるほど、流れるような表現になります。
- 例えば渓流を撮る場合、シャッタースピードを速くすると水滴を細かく描写できます。遅くすると、水しぶきを流れるように表現できます。

よく使う機能をMANUALダイヤルに割り当てる

1 MANUALボタンを数秒間押し続ける。

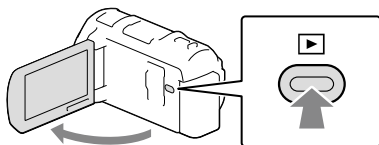
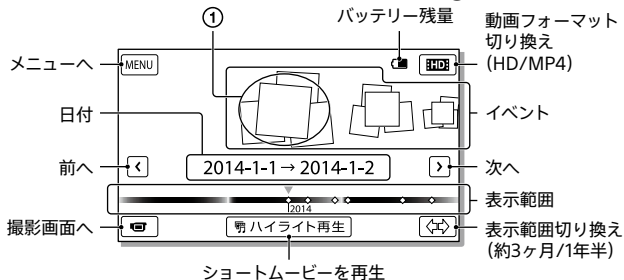
- 設定可能な機能が、[ダイヤル設定]画面に表示されます。

2 MANUALダイヤルを回して、割り当てたい機能を選び、MANUALボタンを押す。

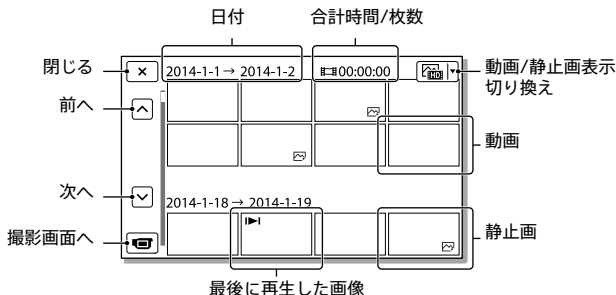
割り当てた機能を使う

① MANUALボタンを押して、手動にする。

② MANUALダイヤルを回して、調節する。

見る

1 液晶モニターを開き、▶(画像再生)ボタンを押して再生モードにする。

2 〈/〉で見たいイベントを中央に表示させ、①の部分を選ぶ。

- 動画と静止画は、同じ記録メディア(内蔵メモリー/メモリーカード)に保存されています(8ページ)。

3 画像を選んで、再生する。

再生時の操作

🔈	音量	⏮/⏭	前へ/次へ
🗑	削除	⏪/⏩	早戻し/早送り
	設定可能な機能	⏸/▶	一時停止/再生
■	止める		スライドショーの開始/停止
	モーションショットビデオ		モーションショットビデオ設定

再生/編集/他機に保存する動画(HD/MP4)を選ぶ

手順2で、画面右上の HD →[HD HD画質]または[MP4 MP4]を選ぶ。

画像を削除する

① 動画を削除するときは、手順2で HD →削除したい動画の種類(HD/MP4)を選ぶ。

② MENU →[編集・コピー] →[削除] →[画像選択]で削除する画像の種類を選ぶ。

③ 削除したい画像に✔を付け、 OK を選ぶ。

本機の画像をメモリーカードにコピーする

① MENU →［編集・コピー］→［コピー］→［内蔵メモリー→メモリーカード］→［画像選択］を選ぶ。

② コピーする画像の種類を選ぶ。

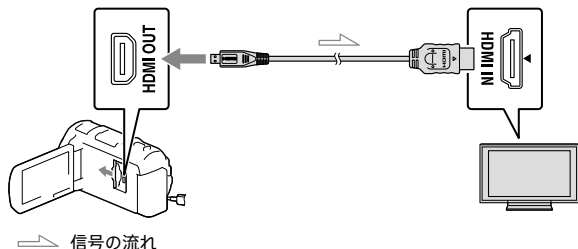
③ コピーする画像を選び、✔マークをつける。

④ OK → OK を選ぶ。

撮る/見る

テレビで見る

1 HDMIケーブル(付属)で、本機のHDMI OUT端子とテレビのHDMI入力端子をつなぐ。

信号の流れ

- お使いのテレビにHDMI端子がないときは、AVケーブル(別売)で本機のマルチ/マイクロUSB端子とテレビの映像/音声入力端子をつないでください。

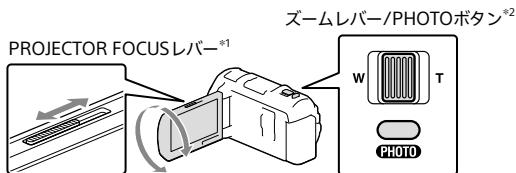
ネットワーク対応のテレビと本機をつなぐ

セキュリティ設定されているアクセスポイントと本機を接続して(27ページ)、本機の▶(画像再生)ボタンを押した後で、MENU→［編集·コピー］→［テレビ鑑賞］で再生する画像の種類を選ぶ。

プロジェクターで見る

1 PROJECTORボタン(39ページ)を押す。

2 [本機で撮影した画像]を選ぶ。

3 操作方法を液晶モニターで確認し、[投影開始]を選ぶ。

*1 投影画面のピントあわせ。

*2 ズームレバーで投影画面上の項目を選択、PHOTOボタンを押して決定。

パソコンやスマートフォンのプロジェクターとして使う

① 本機のPROJECTOR IN端子(39ページ)と相手機器のHDMI出力端子を、HDMIケーブル(付属)でつなぐ。
- HDMIケーブル(付属)が相手機器側の端子と合わないときは、市販の変換プラグアダプターを使ってつないでください。

② 上記の手順2で、[外部機器の画像]を選ぶ。

撮る/見る

PlayMemories Home™を使う

PlayMemories Homeでできること

撮影した動画、静止画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。AVCHD動画をパソコンに取り込む場合はPlayMemories Homeが必要です。

PlayMemories Homeをダウンロードする

PlayMemories Homeは、以下のURLよりダウンロードできます。
www.sony.net/pm/

パソコン環境を確認する

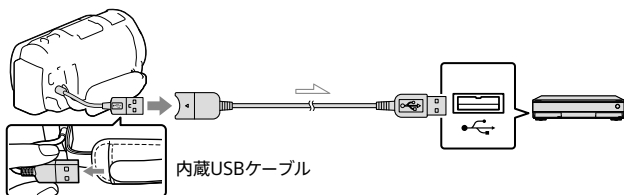
ソフトウェアのパソコン環境は、以下のURLよりご確認いただけます。
www.sony.net/pcenv/

外部機器とつなぐ

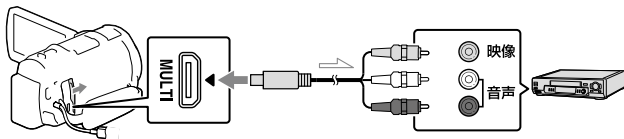
- 相手機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機をコンセントとつなぐときには、バッテリーを取り付けてください。

USB端子があるレコーダーとつなぐ

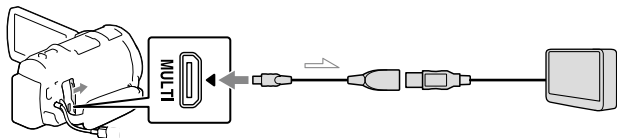
本機とブルーレイディスクレコーダーを、内蔵USBケーブルでつなぎます。

残す

- ケーブルが短いときは、USB接続サポートケーブル（付属）を使います。
- HD（ハイビジョン）画質で保存されます。
- MP4動画は保存できません。
- ［60p画質］で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

USB端子が無いレコーダーとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子とレコーダーを、AVケーブル（別売）でつなぎます。

- 標準画質で保存されます。

外付けメディアとつなぐ

本機のマルチ/マイクロUSB端子と、対応の外付けメディアを、USBアダプターケーブル VMC-UAM2（別売）でつなぎます。

信号の流れ

- HD（ハイビジョン）画質で保存されます。
- バッテリーを本機に取り付けてから、ACアダプター（付属）を接続してください。

Wi-Fi機能を使う

スマートフォン用アプリをインストールする

PlayMemories Mobileの最新情報、機能詳細はこちらをご覧ください。

PlayMemories Mobile

http://www.sony.net/pmm/

Android OSの場合

Google playから、PlayMemories Mobile™を検索してインストールしてください。

- NFCワンタッチの場合は、Android 4.0以上が必要です。

iOSの場合

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。

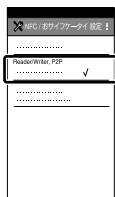
- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。

ご注意

- すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- 本機のWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。
- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

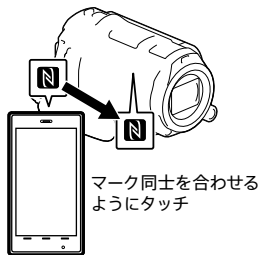
スマートフォンにMP4動画/静止画を転送する

NFC対応のAndroidでワンタッチ接続する場合

1 スマートフォンの［設定］を起動して［その他の設定］を選び、［NFC/おサイフケータイ設定］の［NFC R/W P2P］または［Reader/Writer,P2P］にチェックを入れる。

2 本機でスマートフォンに転送したい画像を再生する。

- MP4動画または静止画のみ、転送できます。

3 本機とスマートフォンをタッチする。

マーク同士を合わせるようにタッチ

ご注意

- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- 本機とスマートフォンの画面に N が表示されていることを確認してください。
- スマートフォンでPlayMemories Mobileが起動するまで（1～2秒）、本機とスマートフォンを動かさずにタッチし続けてください。
- 一部の N がついているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- NFCでうまく接続できない場合は「NFCを使わずに接続する場合」で接続してください。

NFCを使わずに接続する場合

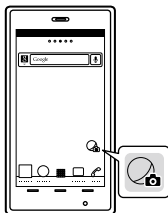
1 **▶(画像再生)ボタンを押してから、MENU→[編集・コピー]→[スマートフォン転送]→[カメラから選ぶ]→画像の種類を選ぶ。**

2 **転送する画像を選び、✓をつけて OK → OK を選ぶ。**

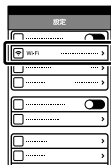
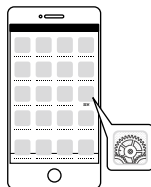
- SSIDとパスワードが表示されて、本機がスマートフォンから接続できる状態になります。

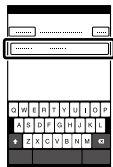
3 **本機とスマートフォンを接続して画像を転送する。**

Androidのとき

①PlayMemories Mobileを起動して、本機のSSIDを選ぶ。

②本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。

iPhone/iPadのとき

①スマートフォンで[設定]→[Wi-Fi]を選択して、本機のSSIDを選ぶ。

残す

② 本機に表示されているパスワードを入力する（初回のみ）。

③ スマートフォンに、本機に表示されているSSIDが正しく表示されていることを確認する。

④ ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。

スマートフォンをリモコンとして使う

本機の撮影機能の一部をスマートフォンで遠隔操作して撮影できます。

1 本機で MENU →［カメラ・マイク］→［撮影補助］→［スマートフォン操作］を選ぶ。

2 「スマートフォンに画像を転送する／NFCを使わずに接続する場合」の手順3（25ページ）と同じ操作を行う。

NFCを使う場合は、本機を撮影画面にして、本機の N とスマートフォンの N または をタッチします。

3 スマートフォンを操作する。

ご注意

- 電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。

Wi-Fiでパソコンに画像を保存する

あらかじめ、無線アクセスポイントまたは無線対応ブロードバンドルーターをパソコンにつないでください。

1 お使いのパソコンに専用のソフトウェアをインストールする（初回のみ）。

Windowsをお使いのかた：
PlayMemories Home
www.sony.net/pm/

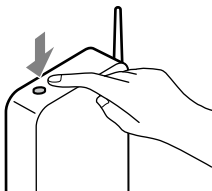
Macをお使いのかた
ワイヤレス自動取り込み
http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

- すでに専用ソフトウェアがインストール済みの場合でも、必ず最新版をウェブサイトからインストールしてください。

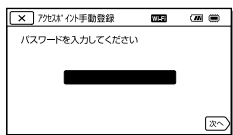
2 本機を無線アクセスポイントに接続する(初回のみ)。

以下のどちらかの手順で登録を行えない場合は、無線アクセスポイントの説明書をご参照いただくか管理されているかたにお問い合わせください。

お使いの無線アクセスポイントにWPSプッシュボタン*がある場合

① 本機で MENU →[セットアップ]→[⇄接続]→[アクセスポイント簡単登録]を選ぶ。
② 登録したい無線アクセスポイントのWPSボタン*を押す。

* 無線アクセスポイントがAOSSとWPSの両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。

お使いの無線アクセスポイントのSSIDとパスワードをご存知の場合

① 本機で MENU →[セットアップ]→[⇄接続]→[アクセスポイント手動登録]を選ぶ。
② 接続したい無線アクセスポイントを選び、無線アクセスポイントのパスワードを入力して OK を選ぶ。

3 パソコンが起動していない場合は、パソコンの電源を入れる。

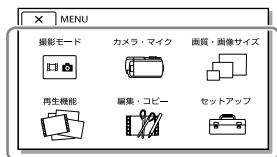
4 本機からパソコン保存を開始する。

① 本機の ▶(再生)ボタンを押す。
② MENU →[編集・コピー]→[パソコン保存]を選ぶ。

- 画像保存を自動的に開始します。
- 2回目以降は新しく撮影した画像のみ保存します。動画や複数枚の静止画を転送する場合、時間がかかります。

メニューを設定する

1 MENUを選ぶ。

2 カテゴリーを選ぶ。

3 設定したいメニュー項目を選ぶ。

- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには ✕ を選びます。

メニュー一覧

撮影モード

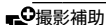
- 動画
- 静止画
- なめらかスロー録画
- ゴルフショット

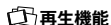
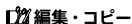
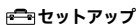
カメラ・マイク

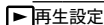
- マニュアル設定
  - ホワイトバランス
  - Spot測光フォーカス
  - スポット測光
  - スポットフォーカス
  - カメラ明るさ
  - フォーカス
  - 絞り
  - シャッタースピード
  - AGCリミット
  - AEシフト
  - WBシフト
  - Low Lux
- カメラ設定
  - シーンセレクション
  - ピクチャーエフェクト
  - シネマトーン
  - フェーダー
  - セルフタイマー
  - 手ブレ補正
  - 手ブレ補正
  - デジタルズーム
  - コンバージョンレンズ
  - 自動逆光補正
  - ダイヤル設定

顔
- 顔検出
- スマイルシャッター
- スマイル検出感度

フラッシュ*
- フラッシュ
- フラッシュレベル
- 赤目軽減

マイク
- プレミアムくっきり音声
- マイボイスキャンセリング
- 内蔵ズームマイク
- 自動風ノイズ低減
- オーディオモード
- 録音レベル

撮影補助
- スマートフォン操作
- マイボタン登録
- ピント拡大
- グリッドライン
- 画面表示設定
- ゼブラ
- ピーキング
- 音声レベル表示

画質・画像サイズ
- 録画モード
- フレームレート
- 同時ビデオ記録
- 画像サイズ

再生機能
- イベントビュー
- シナリオ再生

編集・コピー
- スマートフォン転送
- テレビ鑑賞
- パソコン保存
- 削除
- プロテクト
- コピー
- ダイレクトコピー**

セットアップ

メディア設定
- メディア切換
- メディア情報
- フォーマット
- 管理ファイル修復
- ファイル番号

再生設定
- 日付/データ表示
- 音量
- モーションショットビデオ設定
- BGMダウンロード
- BGMデータ消去

接続
- アクセスポイント簡単登録
- アクセスポイント手動登録
- 機器名称変更
- MACアドレス表示
- SSID・PWリセット
- 接続情報リセット
- TVタイプ
- HDMI解像度
- HDMI機器制御
- USB接続
- USB接続設定
- USB給電
- USB LUN設定

一般設定

- 操作音
- モニター明るさ
- 自動台形歪み補正
- 飛行機モード
- 録画ランプ
- リモコン
- モニターで電源オン
- キャリブレーション
- バッテリーインフォ
- パワーセーブ
- 設定リセット
- デモモード

時計設定

- 日時設定
  - 表示形式
  - サマータイム
  - 日時
- エリア設定

＊　フラッシュ（別売）を使用時に設定できます。

＊＊ 外付メディア（別売）を使用時に設定できます。

使用上のご注意

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- バッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

他機での再生について

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- メモリーカードを誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところで使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

無線に関連する設定(Wi-Fi、NFCなど)を一時的に無効にする

- 飛行機などに搭乗するとき、一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。[飛行機モード]を[入]にしてください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

ワイヤレスLANに関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- 「ヘルプガイド」(3ページ)を参照し、本機を点検する。
- バッテリーを取り外し、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。
- 設定リセットをする(30ページ)。
  リセットすると、日時などの設定が解除されます。
- ハンディカム™ホームページなどで確認する。

http://www.sony.co.jp/cam/support/

- 相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。

その他

主な仕様

システム

信号方式
NTSCカラー、EIA標準方式
デジタルハイビジョン方式
動画記録方式
AVCHD方式（AVCHD規格　Ver.2.0準拠）
映像 : MPEG-4 AVC/H.264
音声 : Dolby Digital 2ch/5.1ch　ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載[*1]
MP4方式
映像 : MPEG-4 AVC/H.264
音声 : MPEG-4 AAC-LC 2ch
[*1] ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
静止画ファイルフォーマット
: DCF Ver.2.0準拠
: Exif Ver.2.3準拠
: MPF Baseline準拠
記録メディア（動画・静止画）
内蔵メモリー 64 GB
メモリースティック PRO デュオ
SDカード（Class4以上）
使用可能容量 約62.4 GB
容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイル、アプリケーションファイルなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。内蔵デモンストレーション動画は削除が可能です。
撮像素子 :
4.6 mm（1/3.95型） CMOSセンサー
記録画素数 :
静止画時 最大2 450万画素相当[*2]
（6 592 ×3 712）（16 : 9時）
総画素数 : 約659万画素
動画時有効画素数[*3]（16 : 9） : 約614万画素
静止画時有効画素数（16 : 9） : 約614万画素
静止画時有効画素数（4 : 3） : 約460万画素
ズームレンズ : Gレンズ
12倍（光学）[*3]、24倍（全画素超解像、動画時のみ）[*4]、160倍（デジタル）
フィルター径 : 46 mm
37 mm（ステップダウンリング装着時）
F1.8 ～ F3.4
f=2.9 mm - 34.8 mm
35 mmカメラ換算では
動画撮影時[*3] :
f=26.8 mm - 321.6 mm（16 : 9）
静止画撮影時 :
f=26.8 mm - 321.6 mm（16 : 9）
色温度切り換え : [オート]、[ワンプッシュ]、[屋内]、[屋外]
最低被写体照度 :
6 lx（ルクス）（お買い上げ時、[シャッタースピード] 1/60秒）
3 lx（ルクス）（[Low Lux]が[入]時、[シャッタースピード] 1/30秒）
[*2] ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムBIONZ-Xにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。
[*3] [手ブレ補正]が[スタンダード]、または[切]のとき
[*4] [手ブレ補正]が[アクティブ]のとき

入/出力端子

HDMI OUT端子 : HDMIマイクロコネクター
PROJECTOR IN端子 : HDMIマイクロコネクター
MIC入力端子 : ステレオミニジャック（ϕ3.5 mm）
ヘッドホン端子 : ステレオミニジャック（ϕ3.5 mm）
USB端子 : タイプA（内蔵USB）
マルチ/マイクロUSB端子[*]
[*] マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

液晶モニター

画面サイズ : 7.5 cm（3.0型、アスペクト比16 : 9）
総ドット数 :
921 600ドット
横640 × 縦1 440

プロジェクター

表示方式 : DLP
光源 : LED（R/G/B）
フォーカス : マニュアル
投写距離（約）: 最低0.5m以上
解像度（出力）: 854 × 480
連続投影可能時間（付属バッテリー使用時）: 約1時間30分

ワイヤレスLAN

対応規格 : IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯 : 2.4 GHz帯
セキュリティー : WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK
接続方式 : WPS（Wi-Fi Protected Setup）/マニュアル
アクセス方式 : インフラストラクチャーモード
NFC : NFCフォーラムType3 Tag準拠

電源部、その他

電源電圧 : DC 6.8 V/7.2 V（バッテリー端子入力）、DC 5 V 1 500 mA（ACアダプター）、DC 8.4 V（DC端子入力）
USB充電 : DC 5 V 1 500 mA
消費電力 :
　液晶モニター使用時、明るさ標準 : 3.1 W
動作温度 : 0 ℃～ 40 ℃
保存温度 : －20 ℃～ +60 ℃
外形寸法（約）:
　67.5 mm × 72 mm × 124 mm（突起部を含む）（幅×高さ×奥行き）
　67.5 mm × 72 mm × 134 mm（突起部を含む、付属バッテリー装着状態）（幅×高さ×奥行き）
本体質量（約）:
　450 g（本体のみ）
撮影時総質量（約）:
　500 g（付属バッテリー）

ACアダプター　AC-UUD11

電源 : AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
消費電流 : 200 mA
消費電力 : 11 W
定格出力 : DC 5.0 V
出力電流 : 1 500 mA
動作温度 : 0 ℃～ 50 ℃
保存温度 : －20 ℃～ +60 ℃

リチャージャブルバッテリーパック NP-FV50

最大電圧 : DC 8.4 V
公称電圧 : DC 6.8 V
容量 :
　公称容量 : 7.0 Wh（1 030 mAh）
　定格（最小）容量 : 6.6 Wh（980 mAh）
使用電池 : Li-ion

本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- AVCHD、AVCHD Progressive、AVCHDロゴおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- メモリースティックおよび はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows VistaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Facebook、"f"ロゴは Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iOSは、シスコの登録商標または商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークを明記していない場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に

- 修理内容によっては内蔵メモリーの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、内蔵メモリー内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前に内蔵メモリー内のデータを保存（バックアップ）してください。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生・改善の確認のために、必要最小限の範囲で内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製・保存することはありません。

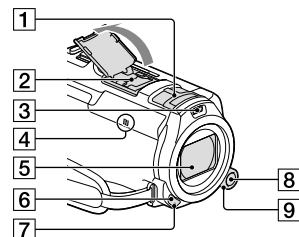
部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

各部のなまえ

(　)内は参照ページです。

1 内蔵マイク

2 マルチインターフェースシュー

Multi Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて詳しくは専用サポートサイトでご確認ください。
他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。
http://www.sony.co.jp/cam/support/
シューアダプター(別売)を使用することで、アクティブインターフェースシュー対応のアクセサリーも使用できます。

3 ビデオライト発光部

4 Nマーク(24)

NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

5 レンズ(Gレンズ搭載)

6 リモコン受光部

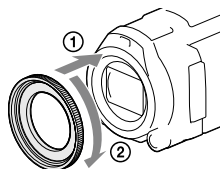
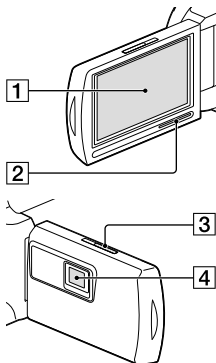
7 録画ランプ

8 MANUAL(マニュアル)ボタン

9 MANUAL(マニュアル)ダイヤル

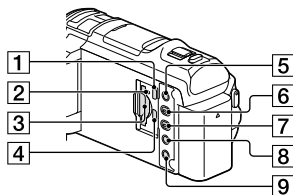
マニュアル機能を割り当てることができます。

ステップダウンリング(付属)を取り付けるには

ステップダウンリングを本機に合わせ(①)、矢印の方向に固定されるまで回します(②)。取り外すには、矢印の反対方向に回します。

1 液晶モニター/タッチパネル

2 スピーカー

3 PROJECTOR FOCUS(プロジェクターフォーカス)レバー(19)

4 プロジェクターレンズ

1 PROJECTOR IN端子(19)

2 メモリーカードアクセスランプ(8)

3 メモリーカード スロット(8)

4 HDMI OUT端子

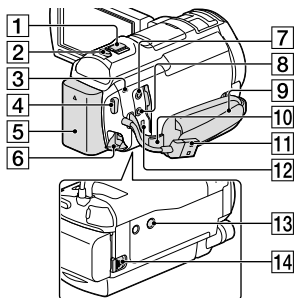
5 (マイボイスキャンセリング)ボタン

撮影者の声をおさえて動画を撮影します。

6 PROJECTOR(プロジェクター)ボタン(19)

7 (画像再生)ボタン(15)

8 LIGHT(ビデオライト)ボタン

9 POWER(電源)ボタン

1 ズームレバー(10、11)

2 PHOTO(フォト)ボタン(11)

3 POWER(電源) /CHG(充電)ランプ(5)

4 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(10)

5 バッテリーパック(5)

6 DC IN端子

7 (マイク)端子(PLUG IN POWER)

その他

8 ∩(ヘッドホン)端子

9 グリップベルト

10 ショルダーベルト取り付け部

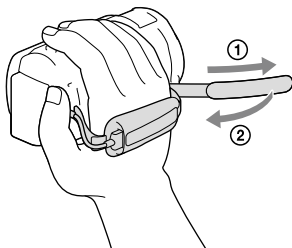
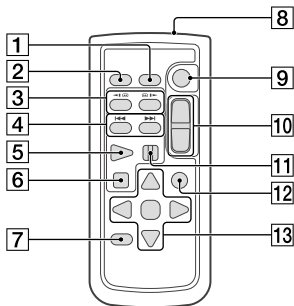
11 内蔵USBケーブル(5)

12 マルチ/マイクロUSB端子

マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。
アダプターケーブル(別売)を使用することで、A/Vリモート端子対応のアクセサリーも使用できます。

13 三脚用ネジ穴

14 BATT(バッテリー)取り外しレバー(6)

グリップベルトを締めるには

ワイヤレスリモコン

1 DATA CODE(データコード)ボタン

2 PHOTO(フォト)ボタン

3 SCAN/SLOW(スキャン/スロー)ボタン

4 ⏮/⏭(前の画像/次の画像)ボタン

5 PLAY(再生)ボタン

6 STOP(停止)ボタン

7 DISPLAY(画面表示)ボタン

8 リモコン発光部

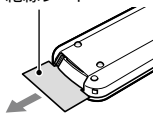
9 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン

10 ズームボタン

11 PAUSE(一時停止)ボタン

12 VISUAL INDEX(ビジュアルインデックス)ボタン

13 ◀/▶/▲/▼/ENTER(決定)ボタン

- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

安全のために

→ **2ページもあわせてお読みください。**

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

つづき

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

ビデオライトご使用上の注意

ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取り外すときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

プロジェクター発光部を直接のぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと強い光が目に悪影響を与えることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	● バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 ● 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 ● 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 ● 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 ● 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
⚠警告	● 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 ● バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 ● ボタン電池は充電しないでください。	禁止
⚠注意	● 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。	指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
	 Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

アルファベット

詳しい情報はヘルプガイド（HTML）へ（3ページ）

自己診断・警告
静止画の撮影可能枚数
メニューの詳しい説明

その他

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.jp/handycam/

ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	**修理相談窓口**
フリーダイヤル	フリーダイヤル
・・・・・・・ **0120-333-020**	・・・・・・・ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話	携帯電話・PHS・一部のIP電話
・・・・・・・ **050-3754-9577**	・・・・・・・ **050-3754-9599**
	※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「400」+「#」(本機や付属品)
「404」+「#」(ソフトウェア「PlayMemories Home」)
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp

HDR-PJ800